



2026年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2025年7月29日

上場会社名 株式会社 大光銀行
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 川合 昌一
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 近藤 慎一

TEL 0258-36-4111

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,221	13.6	1,242	△3.5	862	△2.3
2025年3月期第1四半期	5,472	△5.8	1,288	29.9	883	59.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 3,502百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △364百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	90.46	89.16
2025年3月期第1四半期	92.74	91.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,695,804	78,702	4.5
2025年3月期	1,678,812	75,522	4.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 77,967百万円 2025年3月期 74,806百万円

(注) 「自己資本比率」は（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想（2025年 4月 1日～2026年 3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,700	5.8	1,950	△27.1	1,190	△34.1	124.89
通期	23,820	6.1	4,030	3.5	2,600	4.2	272.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	9,671,400 株	2025年3月期	9,671,400 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	141,379 株	2025年3月期	141,379 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	9,530,021 株	2025年3月期1Q	9,521,818 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
3. 決算補足説明資料	P. 7
2026年3月期第1四半期決算説明資料	P. 7
(1) 損益状況（単体）	P. 7
(2) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	P. 8
(3) 自己資本比率（国内基準）	P. 9
(4) 有価証券の評価損益（単体）	P. 10
(5) 預金等、貸出金の残高（単体）	P. 10
(6) 預り資産（末残）の状況（単体）	P. 11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当行グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金運用収益が増加したことを主因として、前年同四半期比7億49百万円増加の62億21百万円となりました。経常費用は、資金調達費用や営業経費が増加したことなどにより、前年同四半期比7億95百万円増加の49億78百万円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同四半期比46百万円減少の12億42百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比21百万円減少の8億62百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆6,958億4百万円（前年度末比169億92百万円増加）、純資産は787億2百万円（前年度末比31億80百万円増加）となりました。主要勘定につきましては、貸出金は1兆1,567億94百万円（前年度末比141億7百万円減少）、有価証券は3,429億83百万円（前年度末比13百万円増加）、預金等（預金＋譲渡性預金）は1兆4,857億98百万円（前年度末比165億13百万円増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

本業績予想は、現時点において入手可能な情報や合理的であると判断する一定の前提に基づき算出しておりますが、今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	127,108	158,340
金銭の信託	2,956	2,999
有価証券	342,970	342,983
貸出金	1,170,901	1,156,794
外国為替	2,136	2,135
その他資産	9,779	10,686
有形固定資産	14,491	14,750
無形固定資産	719	681
退職給付に係る資産	5,200	5,230
繰延税金資産	3,903	2,589
支払承諾見返	4,920	4,975
貸倒引当金	△6,275	△6,363
資産の部合計	1,678,812	1,695,804
負債の部		
預金	1,430,361	1,453,168
譲渡性預金	38,924	32,630
債券貸借取引受入担保金	28,747	29,025
借入金	88,100	83,800
外国為替	10	9
その他負債	9,935	11,400
賞与引当金	429	228
役員賞与引当金	15	10
睡眠預金払戻損失引当金	313	304
偶発損失引当金	142	158
再評価に係る繰延税金負債	1,389	1,389
支払承諾	4,920	4,975
負債の部合計	1,603,290	1,617,102
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	59,071	59,599
自己株式	△294	△294
株主資本合計	76,985	77,514
その他有価証券評価差額金	△5,965	△3,322
土地再評価差額金	2,567	2,567
退職給付に係る調整累計額	1,219	1,207
その他の包括利益累計額合計	△2,178	452
新株予約権	173	185
非支配株主持分	541	549
純資産の部合計	75,522	78,702
負債及び純資産の部合計	1,678,812	1,695,804

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
経常収益	5,472	6,221
資金運用収益	3,947	4,913
（うち貸出金利息）	2,927	3,598
（うち有価証券利息配当金）	935	1,120
役務取引等収益	942	830
その他業務収益	30	39
その他経常収益	551	436
経常費用	4,183	4,978
資金調達費用	106	721
（うち預金利息）	80	634
役務取引等費用	500	516
その他業務費用	98	154
営業経費	3,066	3,242
その他経常費用	411	344
経常利益	1,288	1,242
特別利益	0	—
固定資産処分益	0	—
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,288	1,242
法人税、住民税及び事業税	221	257
法人税等調整額	171	113
法人税等合計	393	371
四半期純利益	895	871
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	883	862

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	895	871
その他の包括利益	△1,259	2,631
その他有価証券評価差額金	△1,255	2,643
退職給付に係る調整額	△4	△11
四半期包括利益	△364	3,502
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△376	3,493
非支配株主に係る四半期包括利益	12	8

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当行グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当行グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはクレジットカード業務等が含まれております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	204百万円	204百万円

3. 決算補足説明資料

2026年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 損益状況 (単体)

●コア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益が増加したことなどにより、前年同四半期比56百万円増加の12億88百万円となりました。また、投資信託解約損益を除くコア業務純益は、前年同四半期比45百万円増加の12億75百万円となりました。
●実質業務純益は、前年同四半期比8百万円増加の11億42百万円となりました。
●経常利益は、株式等関係損益が増加したものの、実質与信関係費用が増加したことなどにより、前年同四半期比36百万円減少の12億26百万円となりました。
●四半期純利益は、前年同四半期比11百万円減少の8億66百万円となりました。

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期比	2025年3月期 第1四半期	(参考) 2026年3月期 第2四半期 累計期間予想
業務粗利益	4,339	188	4,151	
(コア業務粗利益)	(4,485)	(237)	(4,248)	
資金利益	4,210	371	3,839	
役務取引等利益	268	△137	405	
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	△139 (△145)	△46 (△48)	△93 (△97)	
経費 (除く臨時処理分)	3,197	181	3,016	
人件費	1,806	123	1,683	
物件費	1,179	30	1,149	
税金	210	26	184	
実質業務純益	1,142	8	1,134	
(コア業務純益)	(1,288)	(56)	(1,232)	
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(1,275)	(45)	(1,230)	
①一般貸倒引当金繰入額	△13	9	△22	
業務純益	1,156	△1	1,157	
臨時損益	70	△34	104	
②うち不良債権処理額	143	△41	184	
③うち貸倒引当金戻入益	—	—	—	
④うち偶発損失引当金戻入益	—	—	—	
⑤うち償却債権取立益	28	△205	233	
うち株式等関係損益	157	65	92	
経常利益	1,226	△36	1,262	1,870
特別損益	△0	0	△0	
税引前四半期純利益	1,226	△36	1,262	
法人税、住民税及び事業税	246	34	212	
法人税等調整額	113	△58	171	
法人税等合計	359	△25	384	
四半期純利益	866	△11	877	1,160

(参考)

実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	101	172	△71
---------------------	-----	-----	-----

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 2026年3月期第2四半期累計期間予想は、2025年5月9日に公表した数値であり変更はありません。
4. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益
5. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

（2）金融再生法開示債権及びリスク管理債権

- 金融再生法開示債権及びリスク管理債権は、単体が269億円、連結が270億円となりました。
- 不良債権比率は、単体が前年同四半期末比0.03ポイント、連結が同0.04ポイント低下し、単体・連結ともに2.29%となりました。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年6月末	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	38	34	34
危険債権	229	233	234
要管理債権	0	0	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小 計 (A)	269	269	270
正常債権	11,487	11,333	11,628
総与信残高 (B)	11,756	11,603	11,899
不良債権比率 (A) / (B)	2.29%	2.32%	2.27%

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年6月末	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	39	35	35
危険債権	229	233	234
要管理債権	0	0	0
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小 計 (A)	270	270	271
正常債権	11,501	11,347	11,642
総与信残高 (B)	11,771	11,617	11,914
不良債権比率 (A) / (B)	2.29%	2.33%	2.28%

（3）自己資本比率（国内基準）

●2025年6月末の自己資本比率（国内基準）〔速報値〕は、単体が8.67%、連結が8.71%となりました。いずれも規制値（4%）を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年6月末 〔速報値〕	2024年6月末比	2024年6月末	2025年3月末
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.67%	0.38%	8.29%	8.56%
(2) 自己資本 ①－②	758	18	740	749
コア資本に係る基礎項目 ①	786	18	768	778
コア資本に係る調整項目 ②	28	1	27	28
(3) リスク・アセット	8,737	△192	8,929	8,756
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	349	△8	357	350

【連結】

（単位：億円）

（参考）（単位：億円）

	2025年6月末 〔速報値〕	2024年6月末比	2024年6月末	2025年3月末
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.71%	0.38%	8.33%	8.60%
(2) 自己資本 ①－②	763	18	745	755
コア資本に係る基礎項目 ①	804	27	777	795
コア資本に係る調整項目 ②	40	8	32	40
(3) リスク・アセット	8,760	△191	8,951	8,780
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	350	△8	358	351

（４）有価証券の評価損益（単体）

●有価証券全体の評価損益は、55億円の評価損となりました。

		(単位：億円)			(参考)	(単位：億円)		
		2025年6月末			2024年6月末			2025年3月末
		評価損益		評価損	評価損益		評価損	評価損益
			評価益			評価益		評価益
	満期保有目的の債券	△4	0	4	△3	0	3	△5
	その他有価証券	△50	100	151	△28	102	130	△89
	株式	83	84	0	81	81	0	76
	債券	△68	0	68	△45	0	45	△79
	その他	△66	16	82	△64	20	84	△85
	合計	△55	100	155	△31	102	133	△94
								86
								181

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については（四半期）貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので（四半期）貸借対照表計上額と取得価額（又は償却原価）との差額を計上しております。

（５）預金等、貸出金の残高（単体）

- 預金等（預金＋譲渡性預金）の残高は、法人預金が増加したものの、個人預金及び公金預金が減少したことなどにより、前年同四半期末比133億円減少し、1兆4,858億円となりました。
- 貸出金の残高は、事業者向け貸出及び消費者ローンが増加したことなどにより、前年同四半期末比167億円増加し、1兆1,571億円となりました。

		(単位：億円)		(参考)	(単位：億円)	
		2025年6月末	2024年6月末		2025年3月末	
預金等（末残）		14,858	14,991		14,693	
	うち新潟県内	13,367	13,429		13,120	
	うち個人	10,021	10,079		10,003	
貸出金（末残）		11,571	11,404		11,711	
	うち新潟県内	7,520	7,457		7,655	
	うち消費者ローン	3,798	3,711		3,787	

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(6) 預り資産(末残)の状況(単体)

●預り資産の残高は、投資信託や公共債が増加したことなどにより、全体では前年同四半期末比60億円増加し、1,836億円となりました。

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	2025年6月末	2024年6月末	2025年3月末
預り資産	1,836	1,776	1,758
投資信託	814	730	758
公共債	105	88	95
保険	916	957	904

以 上